

備前市事務事業評価表

事務事業名	林道整備事業	コード	04-01-02-01
		担当課・係	農林水産課 耕地治山係
		担当者	鈴木 秀喜
		電話	0869-64-1830
事業実施期間	平成18年度		
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	
	中項目(基本施策)	豊かな食を支えるまちづくり	
	小項目(施策)	林業	

事業について	
目的 (何のために)	林道を整備することにより森林の防火を図り、地域住民の生活道としての利用が安全に出来るようにし、また維持管理を行い林道の保全及び災害の防止に努めることを目的とする。
対象 (誰・何を対象に)	林道利用者、森林所有者
内容	林道の整備、維持管理

事業の結果								
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)					
林道整備委託	3 路線	5 路線						
草刈賃金	2 路線	5 路線						
小規模林道整備事業		5 路線						
修繕		9 箇所						
設計業務委託		1 路線						
事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,215	間接補助金等		直接事業費	16,359	間接補助金等	3,540
	人件費	2,373	委託費負担		人件費	6,260	委託費負担	
	合計	3,588	一般財源等	3,588	合計	22,619	一般財源等	14,779

必要人員	0.28 人	0.78 人
結果指標名	林道整備委託	林道整備委託
結果指標量	3	5
単位	路線	路線
対前年比	-	166.67%
活動にかかるコスト	563,850 円	1,595,100 円
単位当たりコスト	187,950 円	319,020 円
結果指標名	小規模林道整備事業	
結果指標量	5	
単位	路線	
対前年比	-	
活動にかかるコスト		11,068,000 円
単位当たりコスト		2,213,600 円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	林道利用者及び地域住民が安全に通行出来るように、林道の保全及び災害の防止に努めることを成果とする。		
成果指標名	林道（開設・改良）整備率	式又は説明	整備延長÷林道延長
	17年度	18年度	
成果指標量	0	4	
対前年比	-		0.00%
到達目標値	30	到達目標年度	平成25年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等	妥当性評価<A~E> C 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	経年により森林利用者が減り、地域住民の生活道としての必要性が大きくなっているため、通行に支障をきたさないよう維持管理していく必要がある。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	限られた予算（工事請負費・委託料・修繕料・賃金）の中では、維持管理できる路線数が少ないため、林道の利用者が多い路線を調査し、優先順位付けが必要である。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	現状では、本市の10%程度の林道しか維持管理ができないため、災害防止のためにも現有施設の維持管理をボランティア団体・地域住民等に参加してもらうなどの方法も検討していく必要がある。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 5	結果指標量 5
	結果指標量 15	

総合評価	評価区分<A~E> B
台帳整理及び林道利用者の調査を行い、現状をきちんと把握した上で優先順位を付けていき、維持管理をして行く中で林道利用者・地域住民等の協力も得ながら、林道の保全及び災害の防止に努めていきたい。	

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	利用者の調査	毎年	安全性、投資効果の向上
有効性	ボランティア団体等の参加依頼	毎年	維持管理の向上